

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表（建築等）

（検査員）

〔記入方法〕 該当する項目の「・」に○、×マーク、□に☑マークを記入する。

考査項目	細別	a	b	c	d	e	
2.施工状況	I.施工管理	施工管理が優れている	施工管理がやや優れている	他の事項に該当しない場合	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である	
		<p>「□：評価対象項目」</p> <p>□ 建設工事請負基準約款第19条第1項(1)から(5)に基づく設計図書の照査を確認できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕様書第1編第1章総則に記された設計図書の照査等が実施されている。また、設計図書の照査等の結果をその不都合に関わらず、書面で監督員に提出し確認を求めている。（文書で整理されている。） <p>※</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕様書第1編第1章総則に記された設計図書の工事測量が実施されている。また、設計図書の工事測量の結果をその不都合に関わらず、書面で監督員に提出し確認を求めている。（文書で整理されている。） <p>□ 施工計画書が工事着手前に提出され、その記載内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 施工計画書に所定の項目が記載され、契約後概ね1ヶ月以内に提出されている。または1ヶ月以内に提出しない（できない）理由を書面にて監督員と協議（あるいは報告）し、その後現地着手前にすみやかに提出している。 設計図書の条件明示を反映した施工計画書になっている。 施工計画が現場状況（地形、地質、周辺環境、交通量等）を反映した具体的な内容となっているか。 安全対策が具体的・的確に記載され、実施されている。 施工計画書に変更が生じた場合、当該工事の着手前に変更計画書が監督員に提出されている。 <p>□ 現場代理人、作業主任者等の作業分担と責任の範囲が書面で確認できる</p> <ul style="list-style-type: none"> KY日誌で現場代理人の常駐状況が確認できるとともに、朝礼時において作業体制を的確に把握できる。 施工計画書の現場組織表で、現場責任者が明記されている。 施工計画書の安全管理組織表で、下請けも含め安全衛生責任者、作業主任者等が明記されている。 <p>□ 下請に関する手続き等が適切に行われ施工されていることが確認できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 施工体制台帳及び施工体系図が作成され、工事現場に備えるとともに、監督員に提出されている。 施工体制台帳の記載事項は適正に記入されており、添付が必要な書類も全て提出されている。 施工体系図は、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲示されている。 下請負人が再下請を行う場合に再下請通知書を元請負人に提出する旨の掲示を行っている。 施工体制台帳及び施工体系図に変更が生じた場合、その都度、監督員に提出されている。 <p>※</p> <ul style="list-style-type: none"> 下請けに対する引き取り（完成）検査を実施していることが確認できる。 <p>※</p> <ul style="list-style-type: none"> 下請けに対する当初契約・変更契約が適切になされていることが確認できる。 <p>□ 立会確認の手続きが事前になされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 立会確認が適切に実施されたことが書面で確認できる。 段階確認について、監督要綱及び監督技術基準により、事前に段階確認願（種別、細別、施工予定時期等）が書面で監督員に提出されている。 段階確認が適切に実施され、工程表と整合する。 臨時検査が適切に実施され、工程表と整合する。 				<p>□ 設計図書と適合しない箇所があり、文書により手直し指示を行った。</p> <p>□ 契約図書に基づき施工上の義務につき、検査員から文書により指示を行った。</p> <p>上記1項目該当事項あれば……… d</p> <p>2項目以上該当すれば……… e</p>	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表（建築等）

〔記入方法〕 該当する項目の「・」に○、×マーク、□に☑マークを記入する。

（検査員）

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2.施工状況	I.施工管理	施工管理が優れている	施工管理がやや優れている	他の事項に該当しない場合	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である
		<p>「□：評価対象項目」</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 品質確保のための対策など施工に関する独自の工夫がみられる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 材料（質）のチェック、材料の保管、事前の対応、品質を保つための現場条件、品質を保つための方策の徹底、事後の対応、出来形に評価される品質の各々の時点における工夫が書面で確認できる。 （「別紙6①、別紙6②工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況」の提出が必要。新潟県コンクリート品質確保ガイドライン（案）に基づく取組を達成したものの、ガイドライン（案）適用範囲外構造物でも加点对象構造物で達成条件を満たしているもの（令和3年6月23日技第1021号）。または加点对象構造物で達成条件(4)の3帳票の提出があったものも可とする。） □ 工事の関係書類を不足なく簡潔に整理していることが確認できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ コリンズ登録が適正に行われている。 ・ 工事記録等（提示資料は現場で使用したものそのままを提示すれば良いことから対象外）が目的別にインデックス等で分かりやすく整備されて、その整備資料全体がわかるように、総括表でまとまっている。 ・ 工事書類簡素化の趣旨に則り、必要とされる書類が簡潔にまとめられている。 （提示書類と提出書類がきちんと区別整理され、工事書類作成マニュアル記載資料以外の提出がない） ・ 法的な手続き等が必要なものに提出の漏れがない。（休日・祝日作業、道路使用、労働基準監督署、消防本部などへの提出書類など、整備資料でチェックする。） ※ キャリブレーションの必要な機器は、その成績結果表が添付されている。 ※ 計算式等で算出根拠を説明するものがある場合、図表等を利用しわかりやすく整理されている。 （例、薬注の注入量等、該当がない場合は、項目削除） ・ 写真の撮影箇所に略図等が添付され、把握しやすく見やすく整理されている。 ・ 説明のスムーズさから資料の整理、把握の良さがうかがえる。 <ul style="list-style-type: none"> □ 建設廃棄物及びリサイクルへの取り組みが適切になされている。 <ul style="list-style-type: none"> ※ マニフェストが整理され、所要の数量と整合する。 ※ 施工計 施工計画書に再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画書が当初から添付されている。 ※ 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画書（実施書）が添付されており、数量が確認できる。 ※ 建設副産物の最終処分地又は中間処理地が当初から計画されている。 ※ 産業廃棄物の処分について、委託が収集運搬業許可及び処分業許可を受けた会社と契約されている。 ※ 速やかに「再資源化等の完了報告書」が提出されている。 □ 建退共の証紙が適切に配布され管理されている。（中小企業退職金共済制度加入者は、これに読み替える。） <ul style="list-style-type: none"> ・ 建退共制度等に加入している。 ・ 建設業退職者共済証紙購入状況報告書を工事完成時に提出している。 ・ 建設業退職金共済制度適用事業主工事現場であることが表示されている。 □ 社内の管理基準等が作成され管理している。 <ul style="list-style-type: none"> ※ 管理基準がない工種について、独自の管理基準を設定し管理していることが確認できる。 ・ 社内管理基準（目標）を設定するとともに、その運用方法（目標をオーバーした場合の検討体制や検討プロセス等の具体的な対処法など）を定め、管理されている。 ・ その管理基準により、社内検査（書類検査）が完了していることが書面で確認できる。 ・ その管理基準により、社内検査（現場検査）が完了していることが書面で確認できる。 				

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表（建築等）

〔記入方法〕 該当する項目の「・」に○、×マーク、□に☑マークを記入する。

（検査員）

考査項目	細別	a	b	c	d	e
2.施工状況	I.施工管理	施工管理が優れている	施工管理がやや優れている	他の事項に該当しない場合	施工管理がやや不備である	施工管理が不備である
		<p>「□：評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> 品質証明体制が確立され、品質証明員による関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っていることが確認できる。（3億円以上の工事及び予算執行職員等が必要と認める工事）</p> <ul style="list-style-type: none"> 品質証明員届が提出されている。 品質証明員の資格は、一級建築施工管理技士又は一級建築士である。 品質証明員の現場経験が10年以上である。 適切な時期に現場の施工実態の確認を実施している。 検査前に工事関係書類等の事前確認を実施している。 品質証明書の書式が指定されたもので、証明者の押印及び請負者の社印がある。 <p><input type="checkbox"/> 工事材料の品質を確保していることが確認できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工事材料の品質保証等が適切に整理されている。 JISマーク表示商品については、JISマーク表示状態の確認ができる。 工事材料の品質に影響が無いよう保管している。 指定材料について、材料承認願いが事前に提出されている。 <p><input type="checkbox"/> その他（ ）</p> <p>確認項目（小項目）の2/3以上が該当する場合に、評価項目（大項目）を☑とする。</p> <p>●判断基準 評価値が90%以上…………… a 評価値が80%以上～90%未満…… b 評価値が60%以上～80%未満…… c 評価値が60%未満…………… d</p> <p>※評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評価方法】</p> <p>① 当該「評価対象項目」のうち評価対象外の項目は削除する。☐———</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として、比率で評価する。</p> $\text{評価値} = \frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{\text{○}}{\text{○}} * 100 = \text{□} \%$ <div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 30px; margin-left: auto; margin-right: auto; text-align: center; padding: 2px;"> 評価値 </div> </div>				

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表（建築等）

【記入方法】該当する項目の「・」に○、×マーク、□に☑マークを記入する。

（検査員）

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e	
3.出来形及び出来ばえ	I.出来形	出来形が優れている		出来形が良好である		出来形が適切である	出来形が不適切である		
		<p>【評価対象項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 承諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。 施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。 施工計画書等で出来形の管理を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認できる。 出来形の管理記録の整備が、良好であることが確認できる。 出来形の管理方法が、工夫されていることが確認できる。 現場における出来形が、設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。 現場における出来形が良好で、施工の精度が高い。 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により、確認できる。 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の数量等が確認でき、適切な処分をしていることが確認できる。 その他（ ） 					<p>□ 出来形の管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。</p> <p>□ 出来形が不適切であったため、約款第32条に基づく修補指示を検査員が行った。</p>		
							上記該当あれば……d	上記該当あれば……e	
		<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上…………… a</p> <p>評価値が80%以上～90%未満… a'</p> <p>評価値が70%以上～80%未満… b</p> <p>評価値が60%以上～70%未満… b'</p> <p>評価値が50%以上～60%未満… c</p> <p>評価値が50%未満…………… d</p>					<p>評価値 = $\frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{\text{○}}{\text{○}} * 100$</p> <p>= <input type="text"/> %</p> <p><input type="text"/></p> <p style="text-align: center;">評価値</p>		
		<p>※評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</p>							

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表（建築等）

（検査員）

〔記入方法〕 該当する項目の「・」に○、×マーク、□に☑マークを記入する。

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e		
			品質が優れている			品質が良好である		品質が適切である	品質が不適切である		
3.出来形及び出来ばえ	II.品質	建築工事	<p>〔評価対象項目〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 ・ 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 ・ 材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 ・ 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。 ・ 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 ・ 建具、ユニット等の性能及び機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。 ・ 躯体工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。 ・ 内外装仕上げ工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。 ・ その他の工事（躯体・内外装仕上げを除く）における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。 ・ 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 ・ その他（) 							<input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質が不適切であったため、約款第32条に基づく修補指示を検査員が行った。 上記該当あれば・・・e
			<p>●判断基準</p> 評価値が90%以上…………… a 評価値が80%以上～90%未満…… a' 評価値が70%以上～80%未満…… b 評価値が60%以上～70%未満…… b' 評価値が50%以上～60%未満…… c 評価値が50%未満…………… d							<p>※評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</p>	
								<p>評価値 = $\frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{\text{○}}{\text{○}} * 100$</p> <p>= <input type="text"/> %</p> <p style="text-align: center;">評価値</p> <div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>			

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表（建築等）

（検査員）

〔記入方法〕 該当する項目の「・」に○、×マーク、□に☑マークを記入する。

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3.出来形及び出来ばえ	II.品質	維持修繕工事 又は その他工事	品質が優れている		品質が良好である		品質が適切である	品質が不適切である	
			[評価対象項目] ・ 審査項目記述 () ・ 審査項目記述 () ・ 審査項目記述 () ・ 審査項目記述 () ・ 審査項目記述 () ・ 審査項目記述 () ・ 審査項目記述 () ・ 審査項目記述 () ・ 審査項目記述 () ・ 審査項目記述 () ・ 審査項目記述 () ・ 審査項目記述 () ・ 審査項目記述 ()				<input type="checkbox"/> 品質の管理に関して、監督員が文書で指示を行い改善された。 上記該当あれば・・・d	<input type="checkbox"/> 品質が不適切であったため、約款第32条に基づく修補指示を検査員が行った。 上記該当あれば・・・e	
								$\text{評価値} = \frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{\text{○}}{\text{○}} * 100$ $= \text{□} \%$ <div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 20px; margin: 5px auto; text-align: center;"> 評価値 </div>	
			<p>●判断基準</p> 評価値が90%以上…………… a 評価値が80%以上～90%未満…… a' 評価値が70%以上～80%未満…… b 評価値が60%以上～70%未満…… b' 評価値が50%以上～60%未満…… c 評価値が50%未満…………… d						
			※評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする						

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表（建築等）

（検査員）

【記入方法】該当する項目の「・」に○、×マークを記入する。

審査項目	細別	工種	a 全体的な完成度が優れている	b 全体的な完成度が良好である	c 全体的な完成度が適切である	d 全体的な完成度が劣っている
3.出来形及び出来ばえ	Ⅲ.出来ばえ	維持修繕工事 又は その他工事	<p>[評価対象項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 審査項目記述 () ・ 審査項目記述 () ・ 審査項目記述 () ・ 審査項目記述 () ・ 審査項目記述 () ・ 審査項目記述 () ・ 審査項目記述 () ・ 審査項目記述 () <p>●判断基準 評価値が90%以上…………… a 評価値が80%以上～90%未満…… b 評価値が60%以上～80%未満…… c 評価値が60%未満…………… d</p> <p>※評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする</p>			
			<p>評価値 = $\frac{\text{評価する項目}}{\text{評価対象項目}} * 100 = \frac{\text{O}}{\text{O}} * 100 = \boxed{} \%$</p> <p style="text-align: right;">評価値 <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/></p>			